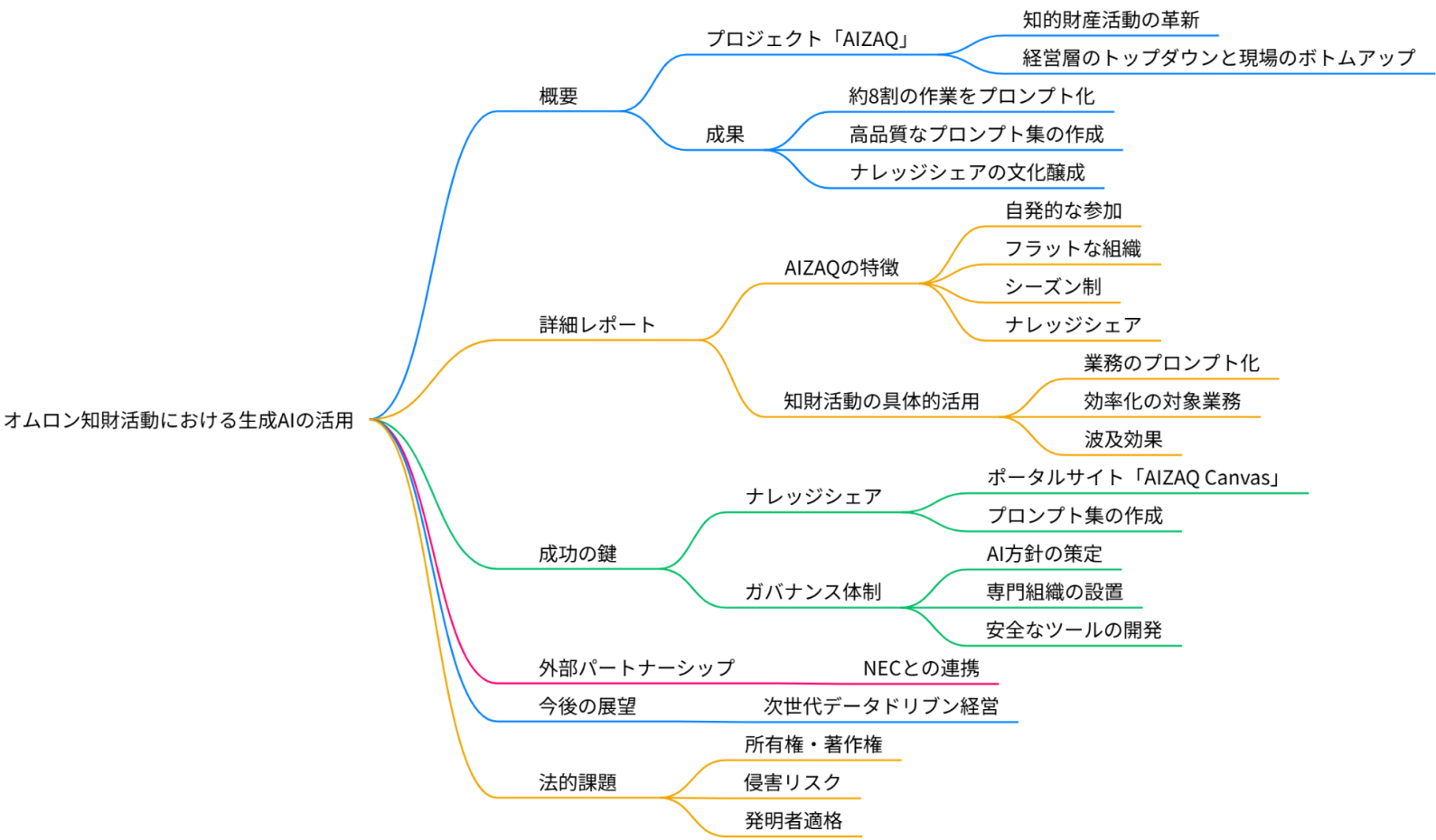


オムロン知財活動における生成 AI の活用

Felo AI



概要

オムロンは、全社横断型の生成 AI 活用推進プロジェクト「AIZAQ」を通じて、知的財産（IP）活動の革新を積極的に進めている [3 43](#)。この取り組みは、経営層のトップダウンの判断と、現場のボトムアップの文化が融合して加速したものである [41](#)。知財活動においては、従来人手で行っていた作業の約 8 割をプロンプト化し、生成 AI に任せることで大幅な省力化を実現した [2 30 41](#)。この成功の背景には、社員が「使ってみたい」と思う高品質なプロンプト集の作成と、ポータルサイト「AIZAQ Canvas」を通じたナレッジシェアの文化醸成がある [1 6 42](#)。NEC などの外部パートナーとの連携により戦略構想を策定し、ガバナンス体制を整備することで、安全かつ効果的な AI 活用を推進している [41 43](#)。この活

動は、知財部門に留まらず、オムロングループ全体への波及効果が期待されており、企業の競争力強化と DX（デジタルトランスフォーメーション）の加速に貢献している [1 2](#)。

詳細レポート

全社的生成 AI 活用推進プロジェクト「AIZAQ」

オムロンは 2023 年、生成 AI の効果的な活用を企業成長の鍵と捉え、全社横断型の生成 AI 活用推進プロジェクト「AIZAQ（アイザック）」を立ち上げた [3 27 32](#)。プロジェクト名は "AI with Zest, Accelerate and Quest" の頭文字を取ったもので、科学者アイザック・ニュートンの知恵と知性を連想させることを意図している [1 3 6](#)。

このプロジェクトは、経営層が早期に生成 AI の価値を体験し、「全社で横断的に取り組むべき」と判断したトップダウンのきっかけと、現場社員の「スマートな働き方を実現したい」という強い想いが融合して始動した [14 41 43](#)。議論開始からわずか 3 ヶ月でプロジェクトが立ち上がった背景には、オムロンに根付くボトムアップの文化がある [14 41](#)。

AIZAQ の主な特徴:

- 自発的な参加: 社員は自らの意志（WILL）に基づき手を挙げ、上司の承認のもと業務の一環として参加する [3 43](#)。
- フラットな組織: 参加メンバーは所属や役職に関わらず、フラットな立場で課題解決に取り組む [41](#)。
- シーズン制: 活動期間を 6 ヶ月間とするシーズン制を採用し、継続的な改善と挑戦を促している [3 41](#)。
- ナレッジシェア: PoC（概念実証）で得られた知見や成功体験を全社に展開するため、ポータルサイトやチャットグループを活用した情報共有を重視している [2 3 43](#)。

2023 年 9 月に開始されたシーズン 1 では、24 のテーマがエントリーされ、その 9 割以上で生成 AI の有効性が確認された [3 41](#)。特に、要約、分類、抽出、生成、添削といった定型業務で大幅な工数削減が期待できることが立証されている [2 3](#)。この成功を受け、2024 年 4 月からのシーズン 2 では参加者が 253 名に増加し、業務への本格導入を念頭に置いた 25 のテーマで検証が進められている [41 43](#)。

知的財産活動における生成 AI の具体的な活用

オムロンの知財部門は、AIZAQ の枠組みを活用して業務革新を達成した代表的な事例の一つである [2 30](#)。以前は、限られた人員で増加する業務量に対応するという課題に直面していた [12](#)。生成 AI の導入は、この課題を解決するための重要な手段となった。

主な取り組みと成果:

- **業務のプロンプト化:** それまで人手で行っていた知財に関する作業をすべて洗い出し、その約 **8 割** をプロンプト化して生成 AI に任せる体制を構築した [2 30 41](#)。これにより、大幅な省力化が実現した [2 41](#)。
- **効率化の対象業務:** 生成 AI は、特許調査や明細書作成の補助、要約、分類、抽出、添削といった定型業務で特に効果を発揮した [2 3 7](#)。
- **波及効果:** 知財部門は各事業部と密接に関係しているため、この成功事例はオムロングループ全体への大きな波及効果が期待されている [2 41](#)。成功体験をグループ全体で共有する動きが加速しており、組織単位での実装フェーズへと移行しつつある [2](#)。

この変革は、単なるツール導入に留まらない。生成 AI を活用するためには、業務プロセス全体を可視化し、課題の所在を明確に特定すること、そして生成 AI の得意・不得意を理解し、適切な工程に技術を適用することが重要であると、AIZAQ の活動を通じて明らかになった [3](#)。

成功の鍵：ナレッジシェアと「AIZAQ Canvas」

オムロンは、生成 AI の導入初期における課題として、社員間の活用格差や技術的ハードルを認識していた [6 42 44](#)。一部の社員が活用しても、その知見が社内に共有されなければ一過性の活動で終わってしまう [6 66](#)。この課題を解決するために中心的な役割を果たしたのが、ナレッジシェアの推進である [1 6](#)。

ポータルサイト「AIZAQ Canvas」: プロジェクトリーダーの一人である古賀達也氏が中心となり、ナレッジ共有のためのポータルサイト「AIZAQ Canvas」を立ち上げた [1 6 42](#)。このサイトは、生成 AI を初めて使う社員向けのガイドラインから、具体的な活用事例の共有まで、幅広い役割を担っている [42](#)。

「使ってもらえるプロンプト集」の作成: 特に注力されたのが、誰でもコピー&ペーストして使えるプロンプト集の作成だった [1 6](#)。

- **コンセプト:** 「使ってもらえるプロンプト」を作ることを目標に、単に多数のプロンプトを用意するのではなく、利用者が求める結果を高精度で出せる品質を追求した [1 42](#)。
- **品質向上の工夫:** 約 10 名のチームで、業務シーンを具体的に想定しながら相互レビューを繰り返し、品質を高めた [6 42](#)。また、テクニカルアドバイザーがプロンプト作成の基本テクニック（役割の明確化、肯定的な指示など）を教えるサポート体制も整えられた [42](#)。
- **成果:** このプロンプト集は社内で大きな反響を呼び、サイトの閲覧数は公開後 1 ヶ月で 1,600 から 5,600 へと約 4 倍に増加した [1 42](#)。多くの社員が成功体験を報告し、社内の生成 AI 活用推進に大きく貢献した [1 45](#)。

ガバナンス、パートナーシップ、そして今後の展望

オムロンは、生成 AI の活用を加速させる一方で、リスク管理とガバナンスの重要性も認識している [43](#)。

ガバナンス体制:

- **AI 方針の策定:** AI の活用に起因する事故や人権侵害などのリスクに適正に対処するため、「オムロン AI 方針」を制定している [20 33 34](#)。
- **専門組織の設置:** IT・法務などの関連部門が連携し、ガイドラインや **FAQ** を策定。さらに、判断に悩む際の問い合わせ先として「**AI ガバナンス委員会**」を立ち上げた [43](#)。
- **安全なツールの開発:** プロジェクト発足と同時に、社内の基幹システムと連携した安全な生成 **AI** ツールの開発に着手し、社員が安心して利用できる環境を整備した [43](#)。

外部パートナーシップ: 戦略構想の策定にあたり、**NEC** をパートナーとして選定した [2 41](#)。選定理由は、**NEC** が日本語性能に優れた生成 **AI**「**cotomi**」を開発していることや、自社で生成 **AI** を「つくる」と「つかう」の両面で実践している「クライアントゼロ」の文化を持つことなどが挙げられる [41 61](#)。**NEC** の伴走支援により、オムロンは自社の「あるべき姿」を明確にし、組織実装に向けた具体的な戦略を策定することができた [41 61](#)。

今後の展望: オムロンは今後、生成 **AI** を活用して、社内に存在するテキストや音声、画像といった「非構造化データ」と、基幹システムの「構造化データ」を掛け合わせることで、新たなビジネス価値を創出する「次世代データドリブン経営」を目指している [41](#)。知財活動における成功は、この大きなビジョンに向けた重要な一歩と言える。

生成 AI と知的財産権の法的課題

オムロンの取り組みが進む一方で、生成 **AI** と知的財産権を巡る法的な課題は世界的に議論されている [5 13 73](#)。

課題	内容
所有権・著作権	現行の IP 法は人間による創造を前提としており、 AI が単独で生成したコンテンツの所有権者が誰（ユーザー、開発者、あるいはパブリックドメイン）になるか不明確である 5 17 74 。米国著作権局は、人間による創作的

課題	内容
	寄与がない AI 生成物は著作権保護の対象外との見解を示している 17 。
侵害リスク	AI モデルの学習データに著作権で保護されたコンテンツが無許諾で使用されている場合、生成されたコンテンツが著作権侵害にあたるリスクがある 39 73 。
発明者適格	特許法においても、発明者が人間であることが前提となっており、AI を発明者として認めるかどうかは課題となっている 17 。



これらの課題は、AI 技術の進化に法整備が追いついていない現状を示している [17](#)。オムロンのような企業が生成 AI を知財戦略に組み込む際には、こうした法的なグレーゾーンやリスクを十分に認識し、社内ガバナンスを徹底することが不可欠である [43](#)。オムロンの「AI 方針」や「AI ガバナンス委員会」の設置は、こうした外部環境の変化に対応するための重要な取り組みである [43](#)。

1. [Sharing Knowledge to Boost the Use of Generative AI at ...](#)
2. [オムロンが挑戦した新しい生成 AI 導入アプローチ ～経営と現場 ...](#)
3. [オムロンの生成 AI 活用推進プロジェクト「AIZAQ ... – Omron](#)
4. [Articles | We are Shaping the Future ! Showcasing Success ...](#)
5. [Generative AI & Intellectual Property Use Cases](#)
6. [オムロンの生成 AI 活用を加速させたナレッジシェア](#)
7. [ChatGPT を活用した知財業務の革新 : AI 技術を用いた最新の ...](#)
8. [Shaping the future: OMRON's data – driven journey with AWS](#)
9. [Generative AI: How it works, content ownership, and ...](#)
10. [生成 AI の面白い活用事例 15 選 ! バズり・常識破りなど驚き ...](#)
11. [顧客の設備保守を効率化するオムロン...ここまで広がっている ...](#)
12. [OMRON Corporation | CASE STUDIES](#)
13. [Generative AI Has an Intellectual Property Problem](#)
14. [「ありたい姿への危機意識」が進めた生成 AI 活用 | NEC](#)
15. [「先人の知見を未来に活かす」 AI 契約レビューで実現する法務 ...](#)
16. [Case Study: Omron's AI – Driven Transformation and Vision ...](#)
17. [Generative AI: Navigating intellectual property](#)
18. [【200 人以上が参画】オムロンの生成 AI 活用の屋台骨を支える ...](#)
19. [Bridging the Gap: How OMRON Leveraged PMsquare's ...](#)
20. [OMRON will take advantage of AI in a proper way to ...](#)
21. [オムロン流「生成 AI の活かし方」、試行錯誤で見えてきた DX を ...](#)
22. [Shaping Tomorrow: A Dance of AI and Human Minds](#)
23. [OMRON updates AI policy to prioritise responsible use and ...](#)
24. [COLUMNS | 国内製造業における生成 AI 活用事例](#)
25. [OMRON recognizes the power of AI in implementing ...](#)
26. [オムロンの生成 AI 活用推進プロジェクト「AIZAQ ... – Omron](#)
27. [Sharing Knowledge to Boost the Use of Generative AI at ...](#)
28. [オムロンの知的財産活用レベル](#)
29. ["AIZAQ," OMRON's Participative Generative AI Project](#)
30. [オムロンが挑戦した新しい生成 AI 導入アプローチ ～経営と現場 ...](#)
31. [Advancing Generative AI with NEC ... – OMRON Corporation](#)
32. [オムロンの生成 AI 活用を加速させたナレッジシェア – Omron](#)
33. [OMRON AI Policy Update](#)

34. [オムロン AI 方針 – Omron](#)
35. [OMRON Corporation](#)
36. [ChatGPT を活用した知財業務の革新：AI 技術を用いた最新の ...](#)
37. [OMRON Corporation](#)
38. [「ありたい姿への危機意識」が進めた生成 AI 活用 | NEC](#)
39. [Best Practices for Mitigating Intellectual Property Risks in ...](#)
40. [「オムロン AI 方針」を策定 – PR TIMES](#)
41. [オムロンが挑戦した新しい生成 AI 導入アプローチ ～経営と現場が一体となって取り組む業務変革とは～](#)
42. [オムロンの生成 AI 活用を加速させたナレッジシェア | We are Shaping the Future！ 私たちが手繰り寄せる未来ストーリー | オムロン株式会社](#)
43. [オムロンの生成 AI 活用推進プロジェクト「AIZAQ」ースマートな働き方と楽しく創造的な社会の実現を目指してー | We are Shaping the Future！ 私たちが手繰り寄せる未来ストーリー | オムロン株式会社](#)
44. [オムロンの生成 AI 活用を加速させたナレッジシェア – Omron](#)
45. [Sharing Knowledge to Boost the Use of Generative AI ... – Omron](#)
46. [オムロンが挑戦した新しい生成 AI 導入アプローチ ～経営と現場 ...](#)
47. [Articles | We are Shaping the Future！ Showcasing Success ...](#)
48. [生成 AI の面白い活用事例 15 選！バズり・常識破りなど驚きの ...](#)
49. [We are Shaping the Future！ Showcasing Success ... – Omron](#)
50. [「ありたい姿への危機意識」が進めた生成 AI 活用 | NEC](#)
51. [OMRON recognizes the power of AI in implementing ...](#)
52. [【200 人以上が参画】オムロンの生成 AI 活用の屋台骨を支える ...](#)
53. [Shaping the future: OMRON's data-driven journey with AWS](#)
54. [COLUMNS | 国内製造業における生成 AI 活用事例](#)
55. [OMRON Corporation | CASE STUDIES](#)
56. [オムロン流「生成 AI の活かし方」、試行錯誤で見えてきた DX ...](#)
57. [Case Study: Omron's AI-Driven Transformation and Vision for ...](#)
58. [Bridging the Gap: How OMRON Leveraged PMsquare's Staff ...](#)
59. [OMRON will take advantage of AI in a proper way to contribute ...](#)
60. [Shaping Tomorrow: A Dance of AI and Human Minds](#)
61. [オムロンが挑戦した新しい生成 AI 導入アプローチ ～経営と現場が一体となって取り組む業務変革とは～](#)
62. [オムロンが挑戦した新しい生成 AI 導入アプローチ ～経営と現場 ...](#)
63. [The Creative Potential of Generative AI – OMRON's Attempt ...](#)

64. [企業価値を高める知財戦略 | 立案から実行までの完全ガイド](#)
65. [The Ripple Effects of Generative AI on Intellectual Property ...](#)
66. [オムロンの生成 AI 活用を加速させたナレッジシェア - Omron](#)
67. [Sharing Knowledge to Boost the Use of Generative AI at ...](#)
68. [オムロンの知的財産活用レベル](#)
69. [Generative AI and Ripple Effect](#)
70. [両利きの知財活動を戦略目標に | オムロン株式会社 - Omron](#)
71. [Generative AI: Finding the Competitive Edge Amid Creative ...](#)
72. [【オムロン株式会社】 NEC とともに進める生成 AI 活用 #戦略 ...](#)
73. [Generative AI Has an Intellectual Property Problem](#)
74. [Generative AI: Navigating intellectual property](#)
75. [Generative AI has an intellectual property problem, here's ...](#)
76. [Generative AI and intellectual property: Copyright ...](#)
77. [OMRON will take advantage of AI in a proper way to ...](#)